

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



福寿草の里

2月15日(土)～3月22日(日)開園

午前9時～午後4時 協力金300円

3月7日(土)福寿草祭り開催

あなたと議会を結ぶ 確かな情報と信頼



どんど焼き

主な内容

新年のあいさつ	2
令和元年度一般会計補正予算	3
予算質疑	4～5
一般質問	6～9
審議結果	10
研修、行事等報告	11
シリーズ地域おこし協力隊	12

下仁田町議会
ホームページ
QRコード





新年おめでとうございます。
令和としての初めての新春を、お健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日頃より皆さまには、町議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援、ご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

現在、わが町においても、加速する少子高齢化、多発する自然災害への対応など、さまざまな課題に直面しております。

町民の幸せな生活を守るため、議員一同その役割と責任をしっかりと自覚し、町民の皆さまのご期待に応えるよう全力を尽くしてまいります。

議会議長
島崎 紘一

議会議長
島崎 紘一

挙で、新人議員が3名当選するなど、新たな議会構成となりました。

心も新たに、町執行部と議会がお互いに切磋琢磨し、一体となって、町民各位の信頼に応えるよう、皆様方のご意見に耳を傾け、

町民の皆さまにおかれましても、大所高所よりご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとって、素晴らしい年となりましますようお願い申し上げます。

下仁田町議会議長
島崎 紘一

下仁田町議会議長

島崎 紘一



令和元年度 一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ5億331万円を増額

台風19号災害関連修繕及び復旧費、支援金、助成金

(単位：万円)

	事業名	主な内容	補正額
歳入	現年度河川等災害復旧事業費負担金	国66.7%	17,517
	災害等廃棄物処理事業費補助金	国1/2	921
	河川等災害特定関連事業費補助金	国1/2	1,326
	災害救助法に基づく支援事業委託金 災害救助法に関わる事業委託金	国10/10	1,265
	現年度林道施設災害復旧事業補助金 林道施設災害復旧事業査定用設計委託費等補助金	国1/2	1,313
	被災者生活再建支援金支給事業委託金	県2/3	650
	有限会社産業開発しもにた出資配当金		199
	普通財産売却収入	旧給食センター	679
	財政調整基金繰入金		▲1,825
	後期高齢者医療広域連合療養給付費 市町村負担金返還金	過年度分	1,269
災害復旧債	道路橋梁・河川・林道施設・農業施設・学校教育施設 保健体育施設・その他公共施設・公用施設	26,480	

(単位：万円)

	事業名	主な内容	補正額
歳出	災害救助法に基づく支援事業	修繕料及び台風19号による住宅損壊に対する助成事業	1,439
	被災者生活再建支援金支給事業	台風19号に伴う災害者生活再建支援金	975
	生活環境保全	災害(台風19号)災害廃棄物等処理委託	1,776
	現年度道路橋梁災害復旧事業(単独)	土砂除去等及び災害復旧(単独)工事請負費24件分	5,491
	現年度道路橋梁災害復旧事業(補助)	道路災害(補助)設計等委託料及び工事請負費9件分他	27,227
	現年度河川災害復旧事業(単独)	河川災害(単独)復旧工事請負費15件分	891
	現年度河川災害復旧事業(補助)	河川災害(補助)復旧工事測量設計委託料 及び工事請負費3件分他	956
	林道災害復旧事業	土砂除去・工事請負費及び設計積算委託料2件分他	4,370
	農業用施設災害復旧事業	土砂除去等	502
	学校教育施設災害復旧事業	旧小坂小プール法面復旧工事	400
	保健体育施設災害復旧事業	下小坂グラウンド側溝復旧工事	363
	消防・防災施設災害復旧事業	消防引入道舗装補修工事及び設計委託料7件分他	3,010

(万円未満切り捨て)

11月臨時会の概要

▼開会日(29日)

▼議案の上程・採決(29日)

台風災害復旧関連事業で、歳入歳出それぞれ1億4千万円を増額する補正第3号の専決処分承認や条例の一部改正等4議案を上程・採決し、承認及び可決。

12月定例会の概要

▼開会日(9日)

会期を17日までとする決定を行い、また、3人の議員が、町政の様々な課題について一般質問を行った。

▼議案の上程・採決(11日)

諮問2件、条例の一部改正等3議案を上程・採決し、令和元年度一般会計補正予算(第4号)等5議案を予算決算特別委員会に付託。

▼予算決算特別委員会(12日)

付託された案件の審査。

▼最終日・採決(17日)

令和元年度一般会計補正予算(第4号)等5議案を可決。

予算決算特別委員会

▼主な質疑

◆令和元年度一般会計
補正予算(第4号)

【歳入】

問 普通財産売り払い収入
について説明を。

答 旧給食センター売却収入であり、平成30年7月に2,000万円、9月に1,400万円、平成31年1月に680万円と



売却された旧給食センター

3回の公募を行っていますが、問い合わせはあったが、正式な応募がない状況でした。

11月15日に倉庫として借りたいという話がありました。11月20日の全員協議会当日の朝に、購入したいという話になったため、全協にて報告しました。

契約は11月22日に行っており、契約保証金の入金がされています。

12月18日に残金の入金や所有権移転登記等が完了する見込みです。

問 災害復旧に係る地方債について、交付税参入はどのくらいか。

答 補助災害復旧事業債については95%、小災害復旧事業債については66.5%、単独災害復旧事業債は47.5%の交付税参入があります。

◀台風19号災害により全壊した家屋(中小坂地内)



問 一般財源はどのくらいになるのか。

答 地方債の借入額2億6,480万円に対し、およそ7,400万円が一般財源での負担となります。



▶社務所が半壊し、鳥居も倒された山際稲荷神社

【歳出】

問 学校教育施設災害復旧事業について説明を。

答 小坂小学校プール西側の法面が台風19号により崩落し、プールの構造物が露出しています。復旧についてはプールがある

▶落沢地内土砂流出の様子



ため構造計算が必要であり、設計して工事をしたため、設計委託料を、流用で対応したいと思えます。

問 プールがあるから工事に構造計算の設計が必要とのことだが、地域の声を聞くとプールは不要



台風19号災害により石積が崩れた旧小坂小プール脇

とのこと。プールを撤去すれば設計費用もかからず、跡地を駐車場として活用できれば、地域や体育館利用者等の利便性も向上する。

答 プールの撤去を検討したいと思います。災害復旧事業債については、あくまで復旧に要する部分のみが対象であり、プールの取り壊しについては、別事業として考える事になります。使

用できる地方債がないと思われるので、その場合は、一般財源で事業を実施することとなります。

問 工事費に設計費を含むのは予算として問題がある。

答 設計費は含まず、工事費の予算ということで対応したいと思えます。プールの撤去は、3月

補正または令和2年当初予算に計上したいと考えています。

◆令和元年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

【歳入・歳出】

問 予算総額は変わらないが、財源更正についての説明を。

答 退職者医療制度の廃止や、当初の見込みより被保険者が減少しなかったことに伴う保険税の補正です。保険給付費についても退職者医療制度の廃止に伴い支払いが減るので、県支出金が減額となります。

◆令和元年度下仁田町介護保険特別会計補正予算(第2号)

【歳入】

問 支払基金交付金とは何か。

答 40歳〜64歳までの人の保険料で、医療保険の保険料と一緒に納めてもらっているものです。



南野牧三ツ瀬地内敷地とともに、浄化槽が流失した現場

【歳出】

問 介護給付費準備基金は決算時に約1億3千万円であることは承知しているが、現在の残高は。

答 積み立ても取り崩しもしていないため、額は変わっていません。

問 台風19号によって、町設置型合併浄化槽の災害が発生したが、復旧に際して個人負担は発生するのか。

問 財政安定化基金拠出金とは。

答 県が設置している基金で、拠出をするものです。

◆令和元年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)

答 南野牧地内で河川護岸とともに個人の庭が流され、町設置型浄化槽本体が流出するという災害が発生しました。災害復旧に際して、町が管理している合併浄化槽本体の復旧は町が行いますが、それに伴う配管等は個人の所有となるため、個人負担となります。

一般質問

町政を問う

■ 質問事項一覧 >>> (傍聴者数2人)

木暮 弘元 議員 60分 (7ページ)

< 質問の相手 >

1. 教育行政について

町長・教育長

- ①災害時の対応について
- ②学校を休んでいる児童生徒及び教員への対応について
- ③いじめ問題について
- ④中学生の海外派遣事業について
- ⑤部活動外部指導者について
- ⑥食物アレルギーの対策について
- ⑦教職員の働き方改革について

小井土光弘 議員 30分 (8ページ)

< 質問の相手 >

1. 自動車後付け踏み間違い対策装置について

町 長

- ①安全向上にアクセルブレーキ踏み間違い対策装置の活用について
(取付費用に対する補助)
- ②諸費用について

2. 消防団各分団に対するチェーンソー配備について

町 長

- ①チェーンソー使用時の安全向上対策について
- ②諸費用について

岩崎 正春 議員 60分 (9ページ)

< 質問の相手 >

1. 台風19号災害と復旧について

町 長

- ①初動対応について
- ②被害状況と被害額
- ③被災箇所の復旧の見通しについて
- ④林道被害と復旧について
- ⑤防災減災のための今後の対策

2. 障害者・高齢者支援と健康づくり

町 長

- ①バリアフリーについて
- ②健康診断や特定健診の受診状況
- ③健康寿命対策

※次ページからの質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。

下仁田町議会ホームページは、インターネット検索サイトで「下仁田町議会」と検索して下さい。

一般質問とは

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行者に求め、町が町民のための適切な町政運営を進めているかチェックするものです。

問 小中学校の災害時の対応等は 避難訓練を実施し、緊急メールを 活用。

議員 避難訓練は実施されているか。回数は。

教育課長 地震、火災、不審者対応等で、小学校は年4回、中学校は年3回実施。

議員 避難指示や誘導指示は誰が出すのか。

教育課長 校長が避難指示を出し、誘導は教職員実施。

議員 避難場所や避難経路は。最終判断は誰が出すか。

教育課長 避難場所は校庭、経路は状況により、教職員が危険箇所を回避。非常口等より校庭へ避難。最終判断は校長が行う。

議員 保護者への連絡方法はどうに行うのか。

教育課長 災害時は、マニュアルに従い、学校から教育委員会等関係機関に通報、保護者へは緊急メールで配信し連絡する。



緊急メールの例

議員 学校を休んでいる児童生徒はいるか。

教育課長 10月末現在、小中学校は不登校傾向2人、不登校傾向1人と報告されている。

議員 不登校対応は。
教育課長 学校に心の相談

員を配置、スクールカウンセラー等や福祉部局との連携を図り、不登校解消や未然防止に努めている。

議員 児童生徒の心の悩みなので、細心の注意で、心のこもった対応を望む。いじめはあるか。

教育課長 毎月、報告を受けており、10月末現在の経過観察中が、小学校が2件、中学校が7件である。

議員 対応と対策は。
教育課長 いじめ防止基本方針を策定している。

議員 いじめた側、いじめられた側の保護者にも連絡をするなど、しっかりと対応して頂きたい。

中学生海外派遣事業について、令和2年度は何人を想定しているか。

教育課長 中学1年生対象アンケート等で18人想定。

議員 選定基準は。

教育課長 実施要綱で規定。現在は希望者全員参加可能。

議員 教育長の考えは。

教育長 グローバル化された世の中で、必要で有意義であると考えている。

議員 海外派遣事業予算は。
教育課長 収入は参加者負担金1人20万円、260万円。支出は約701万円、海外派遣委託費67.4万他。町負担は約44.1万6千円。

議員 町の負担について、参加者に周知しているか。
教育課長 周知している。

議員 要保護世帯等への対応は。
教育課長 対象者が費用の減免を希望した場合、要保護世帯10万円、準要保護世帯5万円の減免規定あり。

議員 要保護世帯等でも、参加出来るように、町で全額負担が私の希望である。明日の下仁田を担う子供たちへの未来の投資であると思うが。

町長 前向きに検討する。
議員 部活動指導員数は。
教育課長 下中ハンドボール部の指導員1人。

議員 休日返上で教員の過

度な負担はないか
教育課長 ない。

議員 アレルギーマスクの対象者はいるか。
教育課長 小学校14人、中学校9人。

議員 アレルギーマスク対応は。
教育課長 給食センターでは、栄養教諭によるアレルギー献立及び成分分析表、詳細献立を作成している。

議員 給食の調理等を外注するとの説明があつたが、大切な命がかかっていることなので、細心の注意をお願いしたい。

教職員の働き方改革に対する変化等は。
教育課長 教職員の多忙化解消に向けた協議会で、業務に専念できる環境確保等に取り組んでいる。また、令和2年4月から働き方改革を実施する。

議員 教育行政と一般行政は常々両輪。教育行政は過疎化の歯止めにもなる。教育委員会はしっかりと気配りをしていただきたい。

い。



木暮 弘元 議員

問 ブレーキ踏み間違い対策装置活用を

答 県内6市町村で補助制度を実施



議員 小井土光弘

自主返納者数は、平成28年度22名、平成29年度34名、平成30年度27名である。

議員 町内の高齢者ドライバーの自動車免許証所有者数は。

総務課長 65歳以上の免許取得者は2,151名。

下仁田町では交通事故の減少を図るために、自動車運転免許証を自主的に返納された方へ支援制度が設けられている。

議員 その制度の内容と返納者数は。

総務課長 運転経歴証明証の交付手数料1,100円全額助成。運転経歴証明証提示で上信電鉄の乗車料金を半額・タクシー協会加入タクシー利用料金1割引の制度がある。

自主返納者数は、平成28年度22名、平成29年度34名、平成30年度27名である。

議員 下仁田町の地理的条件である、免許証は必要かと思う。そこで、事故の未然防止の観点から踏み間違い防止装置は必要だと考える。装置の種類にはどのようなものがあるか。

総務課長 急発進を電子的に制御する装置、ワンペダル式装置、センサー式制御装置の3種類がある。

議員 踏み間違い防止装置の設置費用は。

総務課長 急発進を電子的に制御する装置は、工賃込みで4万円程、ワンペダル式やセンサー式制御装置は、工賃別で17万円程。

議員 群馬県内で装置購入に対する補助制度導入状況は。

況と補助金額は。

総務課長 県内6市町村で

補助制度があり、渋川市と甘楽町が、補助率3分の2で上限5万円、千代田町と大泉町が補助率2分の1で上限2万円、上野村が補助率10分の8で上限5万円、片品村が補助率3分の2で上限6万円と聞いている。

議員 下仁田町にも必要な補助制度と考えるが、町長の考えは。

町長 下仁田町にとって高齢者が運転免許証を返納し自動車の運転が出来なくなるという事は、大変な事かと全体的に感じている。状況や条件を見ながら迅速に検討していきたい。



乗用車のアクセルブレーキワンペダル式装置の例

問 消防団へのチェーンソー配備について

答 安全対策・研修は必要

議員 消防団への導入経緯は。

総務課長 消防団より、過去の災害時に倒木により道路を塞がれ、活動に支障が生じた事から、各分団に1台ずつの配備の要望を受け、国の防災減災国土強靱化のための3か年計画の緊急対策事業を活用し、導入した。

議員 プロテクターの着用義務化や安全対策は。

総務課長 令和元年8月1日より、チェーンソー使用業務に携わる全ての作業従事者に、防護ズボンまたは*チャップスの着用が義務化された。この事から、消防団へのチェーンソー配備の際、安全運用のため、防護ズボンまたはチャップス、ゴーグル、防振手袋等の安全対策は

必要であり、チェーンソー取り扱い研修会も定期的で開催したい。

議員 プロテクターの種類購入の場合の費用は

総務課長 ズボン型と両足の前面を守る型があり、両タイプ共1万〜3万円程度である。

議員 消防団員の安全対策は必要、町長の考えは。

町長 チェーンソーの必要性有りとこの事で配備した。非常に便利な反面、危険も伴う道具で、使い方を誤るといけない。怪我を防止するためにも、安全対策は前向きに検討したい。



チャップスの装着写真

*チャップスとは…ズボンの上から装着する、防護用のプロテクター

台風号19号被害について

問 被害と復旧は？

答 被害概算総額は7億9,270万円

議員 避難所の見直しは。

総務課長 指定避難所は15

カ所あるが、今回は7カ所と荒船の湯を避難所とした。旧西牧小体育館と南野牧社会体育館は、設備の関係から避難所とせず、活性化センターと荒船の湯を避難所とした。

小坂社会対育館は、裏山から激しく出水したため、他に避難していただいた。避難所の精査は、今後防災会議で協議していく。

議員 避難所解除前の夜中に帰宅した事例はあったか。

総務課長 町内8カ所に660人避難した。午後11時の時点でほぼ雨が止



岩崎正春 議員

議員 下河原地区の浸水や小坂滑地内の土砂崩れに

発生した。

議員 夜中の移動は大変危険。折角避難して無事でも、帰りに被害に合わぬ様

も、帰りに被害に合わぬ様

今後啓蒙を図りたい。

議員 夜中の移動は大変危険。折角避難して無事でも、帰りに被害に合わぬ様



東町下河原地区内浸水被害状況 (10月12日16時32分撮影 地元の方情報提供)

よる家屋全壊の原因は。

建設水道課長 吉崎の土木事務所を設置された高崎河川事務所雨量計で、627ミリの記録的大雨となり、鍋川水位が上昇したためと、山側から流れ出る水が、国道横断部分の暗渠に木の枝や土砂が詰まり、下河原へ流入した。今後県と相談し、効果的な対策をして検討していく。小坂滑地内土砂崩れの原因と対策は、想定を超えた雨量により、法面が崩れ、高さ5mの擁壁が決壊し、住宅を倒壊させた。対策として、法面工と擁壁工を併用する対策を考えている。

台風19号雨量データ

10月11~12日雨量	西野牧観測所 (気象庁)	469.5mm
	富岡土木事務所下仁田事業所	627mm
最大雨量/時間	富岡土木事務所下仁田事業所	43mm/h
	10月12日	8時52分

災害箇所(町所轄分)

災害箇所(町所轄分)	概算費用額
道路橋梁災害被害箇所数 51カ所	※6億2,310万円
林道災害路線数 5路線	※9,770万円
消防引き入れ道他補修 7カ所	3,010万円
河川災害箇所数 18カ所	2,850万円
教育施設 2カ所	760万円
農業用災害復旧費	500万円
公園施設土砂片づけ	70万円
災害の概算復旧費の合計	7億9,270万円

※は土砂片付けを含む

災害復旧費の財源構成	見込額	非常食等	備蓄数
災害に係る国庫補助金	3億3,920万円	ご飯、パン、ビスケット等	約3,600食
補助災害復旧事業債	3億3,800万円	飲料水	7,200本
一般財源	1億1,550万円	毛布	260枚
合計	7億9,270万円	下着類	270枚

※激甚災害指定による。交付税参入割合は95%~47.5%

※400人が1日3食で3日間避難所で過ごせることを想定して備蓄

障害者・高齢者支援について

問 公共施設のバリアフリー化は？

答 新しく建設された施設は実施済み

議員 災害の場合、障害者

や高齢者が避難しやすい

ために、避難所や家庭でもバリアフリー化は必要

福祉課長 家庭では段差解

消や手すり設置が主だが、

古い避難所施設は※ユニバーサルデザイン化して

審議結果

11 月臨時会 (29 日開催)

○は賛成、×は反対を表しています。

議案番号	議案名等	議員名	小井土光弘	大手博幸	佐々木信也	岡田邦敏	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	審議結果
73	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度下仁田町一般会計補正予算(第3号))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
74	下仁田町議会の議員の諸給与支給条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
75	下仁田町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
76	下仁田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

12 月臨時会 (9 日～17 日開催)

議案番号	議案名等	議員名	小井土光弘	大手博幸	佐々木信也	岡田邦敏	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	審議結果
諮問	人権擁護委員候補者の推薦について(2件)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
77	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
78	下仁田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
79	下仁田町会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
80	令和元年度下仁田町一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
81	令和元年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
82	令和元年度下仁田町介護保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
83	令和元年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
84	令和元年度下仁田町水道事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(島崎紘一議長を除く11人で採決を行います。)

◆議会研修・行事等報告一覧

▼10月9日
 (役場301委員会室)
 福島県西会津町視察来
 町「下仁田町の空家対策
 について」



▼11月18日
 (市町村会館)
 議会広報研修会



▼11月27日
 (嬭恋村役場)
 甘楽多野地域町村議会
 議員鳥獣被害対策協議会
 視察研修



▼11月11日
 (ヴァンヴェール)
 富岡甘楽地方議会議員
 連絡協議会研修

・演題「自然災害避難呼
 びかけ文の現状と問題
 点・改善点」
 ・講師 群馬県立女子大
 国際コミュニケーションシ
 ン学部 小笠原奈保美
 教授



▼12月24日
 (下仁田町公民館)
 甘楽多野地域町村議会
 議員交流会

・演題「荒船風穴の果た
 した役割とその魅力」
 ・講師 秋池武歴史館長



環境衛生議会・病院議会ニュース

◆甘楽西部環境衛生施設組
 合議会
 令和元年第1回臨時会
 (10月28日開催)

・選挙第1号 議長選挙
 島崎紘一議員を選出
 ・選挙第2号 副議長選挙
 茂木栄一議員を選出
 ・第5号議案 監査委員選任
 青木健太郎議員選任同意
 令和元年第3回定例会
 (12月19日開催)

・第6号議案 群馬県市町
 村総合事務組合の規約変
 更に関する協議について
 ・第7号議案 令和元年度
 補正予算(第2号)

・第8号議案 議会の議員
 等の報酬及び費用弁償に
 関する条例の一部を改正す
 る条例

いずれも全会一致で可決、
 同意

茂木栄一議員を選出
 ・第10号議案 監査委員選
 任同意

石井輝雄議員選任同意
 ・第11号議案 専決処分承
 認(使用料等条例の一部
 を改正する条例)
 ・議案第12号 組合議会の
 議員の報酬の特例に関す
 る条例
 ・第13号議案 組合管理者
 副管理者の給与の特例に
 関する条例

いずれも全会一致で可決、
 同意、承認

◆富岡甘楽広域市町村圏振
 興整備組合議会
 令和元年12月定例会
 (12月20日開催)

・第15号議案
 平成30年度決算認定
 ・第16号議案
 規約変更に関する協議

・第17号議案
 組合教育委員会委員任命
 ・島崎紘一議員を副議長に
 選任

いずれも全会一致で可決、
 承認

◆下仁田南牧医療事務組合
 議会
 令和元年第1回臨時会
 (10月28日開催)

・選挙第1号 議長選挙
 島崎紘一議員を選出
 ・選挙第2号 副議長選出

篠原 司

(農林課農業係勤務)



地域おこし協力隊の篠原司(しのはらつかさ)と申します。

私は「下仁田葱を中心とした伝統的な特産物の栽培技術の習得と継承」という目標のもとに、馬山地区の三件の農家さんにお世話になりながら、一から農業を学ばせて頂いております。

任期の三年間のうち、現在活動二年目、約一年六カ月の研修が終了しました。東京の一般家庭で育った私は、農業や農家の仕事について何も知らなかったため、わずか一年半ですが全ての事が初めての経験で毎日のように小さな発見や

感動をしながら過ごさせて頂いております。

この一年半で特に驚いた事は気候変動についてです。一年一年の季節の移ろいが「毎年こんなにも違うものなのか!」と、今までいかに自分が自然と向き合わず過ごして生きてきたかをこの歳になってやっと気づく事ができ、本当に大切な事を学んでいると深く感じております。

今回、掲載文をしたためさせて頂くにあたり、「将来の夢」について深く考え



下仁田ねぎ、春の仮植の様子

全国ねぎサミット下仁田ブースのお手伝いの様子



る機会を頂きました。原点に立ち返ると私の中には、「生物について」、そして「次の世代を生きる子ども達について」という二つの大きな思いがあることを再確認しました。農業を通して自然と向き合う事、そしてお世話になっていらっしゃる方々の想いを次の世代の子ども達へと承継できるように今後とも精進したいと思います。

編集室から

令和の幕開けから、初めて迎える新年となりました。

昨年のネギ祭りでは、雨天にも関わらず、県内外から多数の来客に恵まれ、大変うれしく思っております。

道の駅では、先日まで商工会青年部によるイルミネーションが輝き、人々の心を暖かく和ませていました。

老若男女のコミュニケーションや集いの場が、今後ともさらに継続出来る事を願っております。

新年最初の議会だよりの編集を、無事終えることが出来ました。次号以降も、暖かく見守っていただけたら幸いです。

大手 博幸

道の駅イルミネーション



広報発行特別委員会

委員長 佐藤 博
副委員長 大手 博幸
委員 小井土光弘
佐々木信也

岡田 邦敏
堀口 博志
岡田 武二



次の定例会は3月です。議会本会議及び予算決算特別委員会の傍聴ができます。日程などのお問い合わせは ☎64-8810

議会だよりの他、町の情報は下記ホームページをご覧ください。

<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

■台風19号災害見舞金

全国町村議会議長会及び群馬県町村議長会より災害見舞金をいただきました。これは、台風19号により被災し、災害救助法適用町村に贈られるものです。下仁田町の台風19号災害関係の寄付金に繰り入れられました。